思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

りりい

VOL. 12
2022年 秋号

社会医療法人
喜悦会グループ
那珂川病院
ちくし那珂川病院
二日市那珂川病院
オレンジハウス清和
デイサービスセンター清和

二日市那珂川病院 緩和病棟開設 コロナクラスター

二日市那珂川病院
院長 **有田 正秀**

令和4年12月1日より14病床の緩和病棟を開設、竹中医師、渡邊医師を中心に緩和医療を始めます。それに伴い療養病床12床、地域包括ケア病床24床となり新たなスタートを切ります。緩和病棟新築、病棟立ち上げに多くの皆様のご協力いただき御礼申し上げます。当院緩和病棟がこの地域の中心的存在となり患者さん、家族に質の高い緩和医療を提供できるよう今後ともご指導のほどお願い申し上げる次第であります。詳細は竹中医師、渡邊医師の掲載文をご参照ください（4〜5・11ページ）。

二日市那珂川病院は令和3年3月１日二日市中央商店街で医療を開始し1年半が過ぎました。緩和病棟新築工事での地鎮祭、起工式は近接する1400年の歴史がある二日市八幡宮に催行していただきました。

令和元号の由来、梅香の宴が催された大伴旅人の邸宅地（現坂本八幡宮）は近くにあります。初めて病院を訪ねたとき商店街は閑散とし寂しい気持ちになりましたが、歴史あり、風光明媚、飲食店は安く美味しい、酒蔵はすぐそば、人情もあり、なかなかいい処です。

病院の方針として福岡大学筑紫病院、済生会二日市病院との連携強化を図り、急性期を過ぎた患者さんを積極的に受け入れ、近隣開業医の先生からの入院依頼は断らず迅速に受け入れています。ちくし那珂川病院より引き継いだ朝老園、サンケア太宰府の２つの老人保健施設の施設医とし、訪問診療、急変時対応を、またオレンジハウス清和、筑紫地区での訪問診療も開始しました。さらに発熱外来を開設、微力ですがコロナ感染症への対応をしています。

病院の機能としては電子カルテの導入、地域包括ケア入院管理科ⅡよりⅠへの変更、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、改善要望事項なく100点満点で認定されました。岩尾看護部長、スタッフの皆さんの尽力に感謝致します。

さて、行動制限のないお盆休み夏休みで新型コロナウイルス感染症第７波は、今までの最多感染を日々更新し岸田総理大臣も感染、友人開業医も多数罹患し酒の味が分からないと嘆いています。そんな中、当院で8月16日入院患者さんにCOVID-19 発症を確認してスタッフも含めてクラスターが発生しました。直ちに那珂川病院より小山氏、城崎先生、ちくし那珂川病院より高橋事務長に来院いただきご助言をいただきました。

当院呼吸器外来非常勤医師の福岡大学筑紫病院小出先生に治療、ゾーニング、隔離解除基準等指導いただきました。病棟ゾーニング、換気扇設置、現場での作業は営繕の2人が休みを返上して対応、3階病棟をコロナ患者隔離病棟として感染拡大を防ぐことが出来ました。

看護師の感染（家庭内も含めて）も多数あり、河津看護顧問には度々おいでいただき病棟でご指導をいただきました。一時的に当院の発熱外来を閉鎖し、外来スタッフに病棟の応援をお願いしました。同時に保健所、医師会に連絡、当院でコロナ患者さんの治療を継続する旨を伝え、レムデシビル（ベクルリー）、モルヌビラビル（ラゲブリオ）を薬剤部の尽力で緊急に取り寄せ呼吸不全にはデキサートにて治療しました。

リハビリスタッフには病棟で食事介助を手伝っていただくなど、当院全ての職員が垣根を越えて協力、尽力いただいたおかげで感染拡大もなく９月1日にはクラスターを収束させることが出来ました。病院の全職員、喜悦会の関係者、ご助言いただいた医師の皆様に厚く御礼申し上げます。

いのちと向き合う。からだと向き合う。こころと向き合う。

「緩和ケア」とは、がんの患者さんとその家族に対して、発病の早期より関わり、あらゆる身体の苦痛や心の不安や生活上の問題点に取り組みます。

それらの維持改善に必要な医療や介護などを取り入れ、その人らしい生活を皆で支えることです。単に身体症状の改善だけでなく、「心のケア」も同時に行い、患者さんの生活に係わることを総合的に維持または改善することを目的とするものです。

当院緩和ケア病棟では『ハートフル』をモットーに、真心に満ち溢れた心安らぐケアを目指しています。痛みなどの身体症状を緩和することはもちろん、心理的、社会的、スピリチュアルな問題にも配慮します。その人らしく穏やかな生活が送れるように、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフ・公認心理師・臨床宗教師・音楽療法士・ソーシャルワーカーなどの専門職とボランティアがチームでサポートいたします。

開設当初より「開かれた緩和ケア病棟」として皆さまにご利用いただいておりましたが、昨今の感染対策事情により面会制限が強いられている状況です。緩和ケア病棟の雰囲気や入院生活の様子など、少しでもお伝えできたらと思い、現在、当院緩和ケア病棟の動画を作成中です。完成後、当院のホームページより配信予定です。

ぜひ、ご覧ください（10月中旬予定）。

病棟理念「ハートフル」**（ご家族作）**

緩和ケア病棟基本方針

1. 患者さん、ご家族に寄り添い、信頼される質の高いケアを提供する。
2. スタッフ一人一人が役割を自覚し、個々の良さを充分発揮できる。
3. チームが連携をとり、助け合い、認め合い、共に考える環境をつくる。

緩和ケア病棟目標

1. 患者さんに苦痛がなく、持てる力を信じ、発揮できるようサポートする。
2. 患者さん、ご家族の思いに心を傾け、寄り添う。
3. 患者さんの生活環境への気配りをし、人生の振り返りができる状態を整える。

ボランティアだより

毎年7月下旬になると、緩和ケア病棟にはスズムシの鳴き声が響き渡ります。漢字で書くと「鈴虫」。名の通り、鈴のような美しい鳴き声です。

俳句の世界で虫といえば「秋の鳴く虫」をさします。ですので「虫」は実は秋の季語なのです。奈良・平安時代にはすでに鳴く虫を楽しむ文化があり、万葉集や百人一首にも、秋の鳴く虫が詠まれています。江戸時代頃には、鳴く虫を飼う専用の虫かごが作られたり、鳴く虫を売ったりする業者がいたそうですよ。また、虫の鳴き声を風流に感じるのは日本人だけ、という説もあります。

このスズムシの鳴き声のおかげで、患者さんは病棟にいながら季節の移ろいを感じられています。本来ならいつも季節のイベントに協力いただいているボランティアさんとともに夏の終わりを惜しみながら、秋の訪れを感じられる時間があるとよいのですが、今はそれが叶わず、今年もさみしい秋の訪れになりそうです。

余談ですがこのスズムシ、以前当院で緩和ケア部長であった原口勝先生（現：公立八女総合病院企業団みどりの杜病院院長）が、毎年7月頃に八女から届けてくださいます。私たちスタッフにとって、スズムシの届く時期は時節到来、原口先生にお会いできる楽しみの時期でもあります。

この病棟を大切に思い、支えてくださる皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

ボランティアコーディネーター：山下公子

秋の絵画展

二日市那珂川病院
緩和ケアだより

緩和ケア医師　竹中（たけなか） 理（ただし）

緩和ケア医師である、竹中理と申します。令和4年12月に二日市那珂川病院において、緩和ケア病棟を開設する事となりました。

緩和ケア病棟を開設するにあたり、この度、2回に分けて私の思いを綴らせていただいております。

第2回のコラムは、**【緩和ケア病棟への思い】**です。

二日市那珂川病院外観

私は以前、八女市にある緩和ケア専門病院の開院に携わらせていただいた経験がございます。ちなみに、南区の那珂川病院緩和ケア科に居られた医師が、現在の院長をされています。今回、二日市那珂川病院での緩和ケア病棟開設にあたっても、その時の経験を少しでも活かしていきたいと考えております。

当初日本でも数少ない緩和ケア専門病院の開院ということもあり、様々な議論を繰り返しました。そしてたどり着いた目標が、『病院らしくない病院』でした。

『自分らしい時間』『納得できる時間』を過ごしていただく為には、患者さんやご家族の皆さんが「入院する」のではなく「別荘に行く」様な気持ちで緩和ケア病棟をご利用いただきたい。それこそが、我々がたどり着いた目標でした。

その目標を実現するために、いくつかの院内ルールを設けましたので、ここでは、その一部をご紹介させていただきます。このルールにつきましては、あくまでもその施設での内容となります。これから開設する二日市那珂川病院につきましても、これから特徴をみいだし皆さんに喜んでいただけるようにしっかりと目標を掲げて参る所存です。

それでは、ルールの一部を簡単にご紹介させていただきます。まずは、『スタッフは白衣を着ない』というルールです。医師、看護師、

薬剤師、管理栄養士、事務職など、すべての職種において白衣ではないユニフォームを設定しました。

他には、患者さんの入院時に担当看護師を決め、担当看護師の不在時以外はいつも同じ看護師がお世話をさせていただくように決めました。緩和ケアにおいて一番接する機会が多いのは看護師です。主治医による訪室は、患者さんやご家族が希望されない限り週2回、という原則も設定しました。もちろん、診察を希望された場合や担当看護師が必要と判断した場合には、いつでも診察にうかがう体制です。

そして、病室の造作備品についても、酸素や吸引のノズルなど、医療用の器具や器材のすべてが通常時には見えないような構造にし、ご家族用の部屋でも患者さんと一緒に宿泊できるように医療設備を整えました。

さらには、より『別荘』らしさを出す為に、病院で一般的に使用するプラスチックの食器ではなく、日常生活で使用する陶磁器などの食器を取り入れました。

ここにご紹介させていただいたものは一部であり、また、それぞれの施設によって、環境面・考え方などの事情は様々です。これらの豊富な経験を踏まえ、二日市那珂川病院の緩和ケア病棟開設が少しでも患者さんやご家族のお役に立てるように、一同しっかりと準備を進めて参りますので今後とも宜しくお願い致します。

緩和ケア外来・相談のご案内

緩和ケア外来を受診される方や入院の相談を希望される方は、必ず電話予約をお願いいたします。

●電話受付時間

平日/9:00～16:00

電話/092-923-2211　受付担当看護師(岩尾)が対応します

●緩和ケア外来

受付時間(予約制)　火曜日/13:00 ～16:30

[外来通院での緩和ケアを行います
緩和ケア病棟退院後の診療も行います]

●入院費について

医療費は、健康保険制度による給付割合に従った料金です。
高額医療給付制度の適用があります。

緩和ケア病棟施設概要

病室:全病床14床で全室個室です(室料なし)

その他の施設:食堂・談話室、ファミリーキッチン、家族控室(宿泊可)、面談室、説明室、介護浴室、一般浴室、洗濯コーナー

緩和ケア病棟へのご入院について

○主に、治療が望めないと判断された悪性腫瘍の患者さんをケアします。

○患者さんまたはご家族が病名・病状について理解していることが入院の条件です。

○体調が安定したら、外泊したり、退院して緩和ケア外来に通院したり、在宅ケアを受けることもできます。

二日市那珂川病院 新任医師のご紹介

二日市那珂川病院
一般内科
渡邊 功

こんにちは、2022年4月に入職致しました医師の渡邊功と申します。

九州内を転々としながら育ってきましたが、大学以降は福岡県内で過ごしています。

今年で医師8年目ですが、昨年度までは筑豊地域の大病院-中小病院を行き来しながら一般内科（総合診療・家庭医療）を基礎に、緩和ケア・在宅医療を学びました。現在専門医としては家庭医療専門医（日本プライマリ・ケア連合学会）と在宅医療専門医（日本在宅医療連合学会）を持っており、今後緩和ケア分野でも資格取得を目指しています。

「総合診療・家庭医療」と言われても分かりづらいかもしれませんが、「身近であり、いつでも・何でも相談できる」かかりつけ医というイメージです。その場の病気だけでなく予防医療までを行います。そして、患者さん自身だけでなく、そのお子さんやご両親などの家族まで幅広くケアし、医療だけでなく介護の悩みまでトータル的な対応ができます。

また多職種との連携も得意としており、患者さんのため最もスムーズな診療・調整を目指したチーム医療を行います。病院に留まらず地域全体の健康増進のため、乳幼児健診や中学校での性教育講演、高齢者向けの健康講話などの活動も幅広く行っています。

この度、私が二日市那珂川病院のスタッフとして働きたいと思ったきっかけは、筑紫野界隈に、まだ少ない緩和ケア病棟を立ち上げ、さらに、訪問診療も充実させていくことで地域医療へのさらなる貢献を高めていくという病院の目指している目標に惹かれたからです。二日市那珂川病院が、今後地域で果たす役割は大きいと確信しております。その中で患者さんがどんな状態であっても「過ごしたい場所で過ごしたいように過ごせる」地域になると素敵だなと思い描いています。

微力ではありますが、皆さんとの診療・触れ合いを通して住み良い地域づくりに貢献できるように励みますので、どうぞよろしくお願いします。

また、私の趣味でロードバイク（スポーツ用自転車）やアカペラをやっておりますので、趣味が同じ方はぜひお声掛け下さい。

二日市那珂川病院
一般内科
山口裕輝子

はじめまして。医師の山口裕輝子と申します。2004年福岡大学医学部を卒業、2年間久留米大学病院にて臨床研修を行い、6年間久留米大学病院腎臓内科にて勤務、医局派遣として、下関市立中央病院、聖マリア病院で勤務致しました。

2012年3月以降は、一般内科医、腎臓内科医として、福岡県内の病院やクリニックにて、外来、病棟管理、透析管理、健診、訪問診療等の仕事を行ってまいりました。ご縁あって、2022年8月1日より、二日市那珂川病院にて勤務させていただくこととなり、現在は主に入院管理を行っております。

我が国の総人口は令和2年10月1日現在、1億2571万人となっており、そのうち、65歳以上の人口は3619万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は、昭和25年には5%しかありませんでしたが28.8%まで増加しました。それに伴い、多くの急性期、慢性期疾患を合併した高齢者が増え、医療、介護、リハビリテーションの持つ重要性が増していると思われます。

二日市那珂川病院は、主に慢性期疾患を持つ患者さんを対象として、総合内科外来に加え、療養病床、地域包括ケア病床を用意しており、また近々、緩和ケア病床が加わる予定となっています。急性期病院で治療後のリハビリテーションや自宅や施設での管理が困難な患者さんに対する医療、介護の継続を行う病院です。

地域に根差した病院であり、全てのスタッフが、地域の皆様のために、日々懸命に業務にあたっており、私も微力ではありますが、今まで得た知識、技術、経験を活かして、地域の皆様の健康が、維持できるように、毎日笑顔で過ごすことができるように、少しでも、貢献できればと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

社会医療法人喜悦会グループ　外来担当医予定表（2022年10月現在）

※外来担当医予定は都合により変更となる場合がございます。ホームページなどでご確認ください。

りりぃ（令和4年10月号）VOL・12 発行 社会医療法人喜悦会 編集 日経メディカル開発

那珂川病院

■午前（診察時間／9:00～12:00）　※1 受付12時まで

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1	朔（第4のみ）（循環器内科）	岡元（消化器内科）	永田（完全予約）（糖尿病内科）	細谷（内科）	蔵本（完全予約）（糖尿病内科）	片桐（第2・4のみ）（脳神経外科）
診察室2	立元（内科・禁煙外来）	立元（内科・禁煙外来）	安藤（循環器内科）	安藤（循環器内科）	森戸（循環器内科）	日赤医師（第1・3・5）松永（第2・4）
診察室3	筒井（内科）	今泉（循環器内科）	佐々木（内科）	藤澤（腎臓内科）	筒井（内科）	
診察室5		眞田（外科）	眞田（外科）		眞田（外科）	
診察室6	石本（第1・3・5）栗山（第2・4）（外科）	吉村（外科）	井上（麻酔科）	大村（脳神経外科）	吉村（外科）	川野（第1・2・4・5）瀬尾（第3のみ）（外科）
診察室7	大村（脳神経外科）			古田（外科）	ラウ（緩和ケア）	
診察室8	※1 齊田（整形外科）	月江（緩和ケア）	※1 齊田（整形外科）		※1 齊田（整形外科）	
診察室10		齋藤（泌尿器科）		齋藤（泌尿器科）		

■午後（診察時間／13:00～17:00）　※2 完全予約

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1	岡元（消化器内科）	※2 保田（糖尿病内科）	岡元（消化器内科）		細谷（内科）	
診察室2	安藤（循環器内科）	細谷（内科）			冨田（循環器内科）	
診察室3			立元（内科・禁煙外来）	筒井（内科）		
診察室6	石本（第1・3・5）栗山（第2・4）（外科）		大村（脳神経外科）	吉村（外科）		当番医
診察室7	ラウ（緩和ケア）		古田（外科）	野中（脳神経外科）		
診察室8				月江（緩和ケア）		
診察室10		関または宋（第2・4）			齋藤（泌尿器科）	

診療時間　平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00

休診日　日曜・祝祭日・年末年始（12/31～1/3）
※急患はその限りではありません

住　所　福岡市南区向新町2-17-17
TEL：092-565-3531　FAX：092-566-6460

交通アクセス　西鉄バス系統番号3番・4番・47番・48番・49番・60番・61番・62番・600番台・W1-W3「那珂川病院前」下車すぐ

■駐車場150台

ちくし那珂川病院

診察時間（平日9:00～12:00/13:00～17:00 土曜日9:00～12:00）

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前		松村	大國	松永		当番医
消化器内科・外科	午前	渡邊	池田	和田	渡邊・当番医	野間・池田	当番医
	午後					野間	
呼吸器内科・外科	午前	横山	横山			野上	当番医
糖尿病・内分泌内科	午前				第1・3重本		第2・4重本
	午後	第1・3当番医					
循環器内科	午前	桑原	高宮	桑原			第1・3・5桑原
	午後		高宮				
救急	午後	和田	横山	桑原	松永	横山	
健診	午前	宗清	宗清	大國	宗清	宗清	久部
内視鏡	午前	渡邊	渡邊	渡邊	当番医		
	午後	渡邊	渡邊	渡邊	当番医		
CART	午前		渡邊				
	午後		渡邊				

診療時間　平日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00

休診日　土曜午後・日曜・祝祭日

住　所　〒811-1253
那珂川市仲2-8-1
（ミリカローデン那珂川 北側）
TEL：092-555-8835
FAX：092-555-8975

交通アクセス
コニュニティバス《かわせみ》「片縄線」「安徳線」「南駅・ミリカ線」ちくし那珂川病院前

二日市那珂川病院

■午前（診察時間／9:00～12:00）

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	有田	有田	渡邊	循環器内科医	内科医	渡邊（第1・3）
						竹中（第2・4）
	渡邊	糖尿病担当医	肝胆膵医	内科医	内科医	片桐（第5）

■午後（診察時間／13:00～17:00）

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	有田	有田	有田	（循環器）	（呼吸器）	休診
		竹内				
	片桐	（糖尿病）	（肝胆膵）	竹中	片桐	

診療時間　平日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00

休診日　土曜午後・日曜・祝祭日

住　所　〒818-0072
筑紫野市二日市中央3-6-12
TEL：092-923-2211
FAX：092-925-0415

交通アクセス
西鉄二日市駅（西口）より…徒歩約8分
JR二日市駅より…徒歩約5分

● デイサービスセンター 清和　〒811-1321 福岡市南区柳瀬1-31-11　TEL：092-589-0123／FAX：092-589-0124
● オレンジハウス 清和　〒811-1203 那珂川市片縄北3-17-7　TEL：092-952-1165／FAX：092-952-1155